

# パルシステム東京は、利益より“いのち”を大切にしたい社会を目指します。

利益を優先した自由貿易協定は、国内の食料自給率の低下、貧富の格差拡大、低賃金労働や児童労働など、世界に数多くの問題を引き起こしています。パルシステム東京では、それらの問題点を広く伝えていくとともに、解決を模索し続けています。世界でも同じ問題意識から、新しい価値観が提唱され、広がりを見せはじめています。

## 行き過ぎたグローバル化や利益を優先した自由貿易協定...どのような課題がうまれているの? 「観て」知る ~ドキュメンタリー映画紹介~

### バナナの逆襲1

敏腕? 弁護士ドミンゲス、現る

中米ニカラグアのバナナ農園の労働者が、使用禁止農業による被害を訴え超巨大企業に対して起こした裁判を追ったドキュメンタリー。多国籍化する食料生産システム、TPPやグローバリズムといった世界の構造と課題を描きます。



監督: フレドリック・ゲルテン / 制作: WG Film / 配給: きろくびと / スウェーデン / 2009年 / 87分

### ザ・トゥルー・コスト

ファストファッション 真の代償

この数十年、服の価格が低下する一方で人や環境が支払う代償は劇的に上昇。Bangladeshの縫製工場崩落事故などを取り上げ、「服に対して本当のコストを支払っているのは誰か?」という問題を提起するドキュメンタリー。



監督: アンドリュー・モーガン / 配給: ユナイテッドピープル / 2015年 / 93分

### 幸せの経済学

ヒマラヤの辺境ラダックは急速な近代化の波にのまれ伝統的な生活スタイルが一変。消費文化に翻弄されるラダックの人々の姿を通して、世界中の環境活動家たちがグローバリゼーションの課題を指摘し、本当の豊かさとは何かを問いかけます。




監督: ヘレナ・ノーバーク=ホッジ、スティーブン・ゴリック、ジョン・ページ / 製作: ISEC / 配給: ユナイテッドピープル / 2010年 / 68分



**利益よりいのちを大切にしたい社会を**

パルシステム東京理事長  
野々山理恵子



グローバル化の問題点が言われるようになって久しいですが、「グローバル化」という言葉の意味や使い方に ついては、気をつけなくてはと思うことがあります。

今問題となっているのは巨大なグローバル企業が国の枠すらも超えて巨大な力を持ち、政治や経済を支配している構造です。人々がグローバルに行き来して つながることは大切なことであり、そのような力に對抗するためにも必要ないかなと思います。

「Think Globally, Act Locally」を心がけるように、地球規模で市民同士が連携して問題点を考え、知恵を寄せ集め、地域ごとに実行していくこと、そしてその地域運動を地球規模でつなげていくことが、今本当に必要だと考えます。地球環境や、平和を維持するためにも。

TPPの問題などに象徴されるようなグローバル企業による政治経済の寡占により、世界中で格差が拡大し、目の前の問題に追われ考える時間も奪われ、内向きになっていくことを危惧します。地球規模で起きているこの課題に対し、自国中心主義の理論に陥らないように、みんなで目を見開いて耳を澄まして手をつないで、しっかり考えて行動していきたいと思っています。世界をこどもたちに残すために。

## 世界や日本で、「新しい価値観」が広がりを見せはじめています!

### エシカル消費 ~私の「選ぶ」が社会を変える~

価格や品質だけでなく、商品が出来るまでの背景や、商品が人や社会、環境へ与える影響を考えながら買い物をする、それが「エシカル消費」(倫理的消費)です。例えば、生態系や自然環境に負荷を与えない環境配慮型商品、立場の弱い途上国の生産者等の権利を守るフェアトレード商品などもその一つ。私たち一人一人の「選ぶ」「買う」が、世界の問題を解決することにもつながります。パルシステムではエシカル消費につながる商品をたくさん取り扱っています!



#### 人・社会に配慮した「フェアトレード商品」

#### エコ・バナナ

パルシステムでは、化学合成農薬を使わずに栽培したバナナをお届けしています。防かび剤も不使用。環境に配慮しながら、生産者の自立や現地の雇用にも貢献する取り組みを進めています。

#### 環境に配慮した「産直商品」

#### コア・フード野付のほたて

地中に稚貝をまき、植物プランクトンなどの天然の栄養分で成長させる持続可能な漁業のひとつ。豊かな海を守るために29年前から植樹活動にも取り組んでいます。



もっと知りたい方へ!



おススメの本  
**はじめてのエシカル**  
著者: 末吉里花 / 山川出版社  
基本の考え方から食品の選び方など実践できるコツを紹介。ショッピングガイド付き。

### ローカリゼーション ~地域でまわる“幸せの経済”~



グローバリゼーションに代わる新たな価値観「ローカリゼーション」。例えば、「地産地消」のように、地域の中で食糧やエネルギーをできるだけ調達し、地域内で循環する経済をつくるのが望ましいという考え方です。ローカリゼーション運動のパイオニアであるヘレナ・ノーバーク=ホッジ氏は「ローカリゼーションの促進が、切り離されてしまった人と人、自然とのつながりを取り戻し、地域社会の絆を強めていく」と語ります。「本当の豊かさ」を求め、持続可能で自立した暮らしを目指すコミュニティの構築が、世界的に広がりつつあります。

**ヘレナ・ノーバーク=ホッジ氏**  
グローバル経済が文化と農業に与える影響に関する研究の第一人者。映画「幸せの経済学」監督。

### 「しあわせの経済」世界フォーラム2017in東京

2012年から始まった「しあわせの経済」世界フォーラムは、ローカリゼーションの考え方や実践例を紹介し、各地の「ローカル経済」のモデルを発信する場として、これまで世界各国で開催されてきました。今年、日本で初開催! ぜひご参加ください。

**1日目 ▶ 11/11(土)** **2日目 ▶ 11/12(日)**

- 会場: 一ツ橋ホール(地下鉄・神保町駅)
- 参加費: 前売3000円・当日4000円
- ゲスト:
  - ヘレナ・ノーバーク=ホッジ氏
  - サティッシュ・クマール氏(思想家)ほか多数
- 会場: 明治学院大学(JR品川駅)
- 参加費: 無料
- パルシステムトークセッションゲスト:
  - 島村菜津氏(ノンフィクション作家)
  - 野々山理恵子氏(パルシステム東京理事長)
  - 豊下勝彦氏(豚肉産地・ポークランド代表)

詳細・お申込はこちら!

